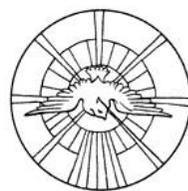


# ひかり

2015年8月号



## 日本聖公会 三光教会

第639号

〒142-0064 東京都品川区旗の台6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX03(3781)2544

http://nnsk.org/tokyo/church/sanko/stephen/

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

わたしの父の御心は、子を見て信じる者が皆永遠の命を得ることであり、わたしがその人を終わりの日に復活させることだからである。

(ヨハネ 6:40)

### 変化を恐れず、主イエスと共に歩む

司祭 グレース 神崎 和子

今年も、毎年九月に開催されて

いた「東京教区フェスティバル」が少し変わった形で行われます。それは教区聖餐式「エリアで祝おう！ユーカリスト」です。この教区聖餐式は同じ時間に東京教区の八つの会場教会で、同じ式文を使って礼拝を献げるといふものです。

信徒は、教会単位ではなく、それぞれが居住する地域の会場教会の礼拝に参加するのです。私たちの持っている教会単位の概念を超えて、居住エリアで考えていくのだそうです。常に教会単位で思考してきた中で、少しイメージが浮びにくいかもしれません。けれどもだからこそ新しく経験する必要があるのかもかもしれません。

今後東京教区は、5年以内に教徒者が激減します。また多くの教会で信徒の高齢化が進むと予測されています。これらの現状をただ負のイメージだけで捉えるのではなく、前向きに新たな礼拝、宣教の形を模索していく時代が到来していると受

け止めたいと思います

現在すでにいくつかの教会では、聖書の学びや主日の礼拝を教会の枠を越えて、共に行っている教会が存在します。夏のキャンプその他のプログラムも一緒に担い合っているそうです

私たちも、これからは外に向かつて目を開き、より大きな地域エリアの中での役割を認識し、一教会という枠を超える発想が必要だと思えます。複数の教会が共になつて、その地域の人々が必要としている事柄に応答していく、そういう宣教・奉仕の活動が求められているということだと思います。その拠点として、三光教会が位置付けられる、そういう受け止め方が必要です。三光教会も東京教区に属する教会として、一個の教会の枠を越えた、礼拝・宣教・奉仕の業を担っていくことが求められていると思います

そして最後に忘れてはならないことは、この様な変化の時代を生きるからこそ、常に祈りを持って、私

たちの進むべき道を主に問ひ、これからの道を歩まねばならないという事です。

変化の荒波が襲い掛かり、不安と混乱の中に投げ出されたとしても、主イエスの言葉「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない」(マルコ6:50b)このお言葉を信じて地道に進んで行きたいと思ひます。

### 9月の予定

#### ◆9月

6日(日) 聖霊降臨後第15主日

7日(月) 9月逝去者記念聖餐式

8日(火) おとめ聖マリヤの誕生日

聖書の学び(旧約)

13日(日) 聖霊降臨後第16主日

14日(月) 聖十字架日

15日(火) 聖書の学び(新約)

16日(水) 秋期聖職按手節

18日(金) 主教セオドル

秋期聖職按手節

聖書の学び(旧約)

19日(土) 秋期聖職按手節

20日(日) 聖霊降臨後第17主日

21日(月) 福音記者使徒聖マタイ日

22日(火) 聖書の学び(旧約)

27日(日) 聖霊降臨後第18主日

29日(火) 聖ミカエルおよび諸天使の日

30日(水) 司祭教会博士ジェローム

婦人会だより 7月

7月19日 出席者34名  
聖歌259番に続き、神崎司祭のお祈りの後、今回は「人間の病苦と癒し」をテーマにお話を伺いました。

神崎司祭は7月がお誕生日なのでバースデイ・ケーキでお祝いをしました。

・アジア婦人会議（ACWC）日本委員会の一日研修会（2015年10月30日（金）富士見町教会）の案内がありました。

・本年度の婦人会の活動について話し合いを持ち、多くの提案を頂き感謝いたします。（記・内田公子）

男子会だより 7月

7月19日（日）午後1時から例会。10名出席。

ネパール復興支援のチャリティプログラム、次回は9月20日（日）の男子会例会後に開催します。皆様、特に「婦人の」参加大歓迎です。別途、ご案内いたします。

バーベキュー用炭焼きレンジが老朽化したため、新規購入することを選択しました。バザーの焼鳥にも活躍します。大切に使うようにしたいと思います。（記・伊藤和彦）

日本聖公会  
『沖縄週間・沖縄の旅』に  
参加して

日本聖公会の正義と平和委員会・沖縄教区は、不戦を誓い沖縄戦の犠牲者を悼む6月23日の「沖縄県慰霊の日」の時期に、毎年「沖縄週間・沖縄の旅」を行なっています。今年の旅は戦後七〇年に当たるので、「命どう宝のいのちより他のものを優先する社会に『否』を言う」という主題を掲げました。6月20～23日（3泊4日）の日程で、本土8教区から55名の聖職・信徒、教団から2名の信徒が参加し、過去最大の集いとなりました。

2日目は、1959年にうるま市の宮森小学校に米軍戦闘機が墜落し、児童ら17名が死亡した事故の惨状を学びました。事故を語り継ぐ会長は「基地が無くならない限り問題は解決しない」と訴えています。

3日目は、辺野古の新基地建設に反対する住民達が座り込み抗議を続けている拠点を訪問し、短時間ですが座り込みに参加して交流を行いました。辺野古海岸テント村での抗議活動は4082日、米軍キャン

プ・シユワブ・ゲート前での抗議活動は351日を迎えていました。ガンジの非暴力主義を本手として、相手側の良心に訴えることが抗議活動の原則となっています。

昨年11月に沖縄県民の圧倒的な支持により翁長知事が誕生しましたが、イデオロギーを超えたアイデンティティという訴えに同調して、県民の一体感が高まっていると感じました。

その日の夜は、主教会開催のため



辺野古の対岸で手を繋ぎ祈りを捧げる。

に来沖された日本聖公会の全主教および韓国からの2人の主教とオモニ聖歌隊と一緒に、小禄聖マタイ教会で野外バーベキュー大会を楽しみました。本土からの参加者の内約半数が初参加でしたが、分かち

合いの集いでは、「沖縄に来て初めて基地問題の実態を学ぶことができた」「沖縄の基地問題は実は本土側の問題であることを自覚させられた」などの意見が寄せられました。東京教区からの参加者は、安次嶺昭男・佳子の他5名でしたが、今後は若い層を含めた新しい方々が東京教区から多数参加されることを期待します。（記・安次嶺昭男）

三光教会訪問を  
振り返って（要訳）

コンスタンシオ・アブガオ司祭

日本訪問の際には温かいおもてなしと強力なサポートを頂き、ありがとうございました。私たちの心から、そしてたくさんの方が、すばらしく忘れがたい訪問と経験をさせてくださった、三光教会の温かく親切な皆さまに申し上げます。今回の訪問を顧みて、フリンドリーとカルメンと3人で話し合ったことの一部を記しました。

教会の敷地の中にある建物に泊まることのできたのは、本当にすばらしく、心休まることでした。食事はおいしく、大好きになりました。

日本人は、フィリピン人が食事の合間にたくさん食べるスナックを、好まないことに気がつきました。これはすばらしい自律心（自己を律する心）の表れです。

日本人は親切で友好的で、いつもほほえんでいます。会うときも別れるときもお互いに礼をします。なんとすばらしい互いへの敬意でしょう。いつも約束の時間に間に合うべく急いでいる、時間に関する日本人の規律にも気がつきました。

大畑主教に会えたことはお恵みでした。主教が私たちの協働関係の支えとなってくださっているのは、とてもすばらしいことです。主教が私たちの信徒奉事者プログラムについて聞いてくださったのは、教育面でいかに助け合えるかという、未来への希望と祈りだと思えます。

訪問した場所はすべて、とても有益で多くのことを学ぶことができ、私たちの協働の協定に照らし合わせて適切でした。カフェ・エクレシヤ、聖ヨハネ教会、カパテイラン、キッドスクール、お年寄りの施設、鍼灸、手縫いおむつの会は、貧しい人々を助け、特に必要とされている人々への関心に注意を向ける、特別の教会の働きです。これは福音の

真実とも一致しています。

日本の町は美しくとても清潔です。美しい植物や花がすべてのコーナーにあります。本当にすばらしいと思いました。ここでも植物を植えたり町を美化したりすることへの心遣いと人々の規律があります。

焼却炉を見学できたことは大変勉強になりました。私たちは同じような技術を持つことはできないでしょうが、私たちが学んだ基本的なことは3R（減らし、再利用し、リサイクルすること）です。これはとても重要で、私たちは環境のためのこの基本的原則を、地元の人や信徒に伝え続けます。

アジア学院に行き、同じ州の出身者の案内を受け、トレーニングを受けている人たちと会うことができ、互いの関係を築き上げることの大切さを学びました。敷地内を見て回り、私たちの地で採用できるたくさんの実用的なことを学びました。

また私たちは、多くの日本人がスリムで健康的なのに気がつきました。これは食事と食べることに対する自律心から来るものです。驚いたのは人々が年齢よりずっとずっと若く見えたことです。規律を大切に

以上が、決して忘れることのない私たちの経験です。この協働関係はすばらしい祝福であり、協働関係が更新されたことを神様に感謝いたします。教会の各レベルでの交流をすることにより、よりこの関係が強化されますことをいつも望み祈っています。  
(訳・安次嶺佳子)

### 教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

### はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は礼拝中椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

### 礼拝のご案内

#### ■ 主日礼拝

- 午前 7:00 早祷・嘆願
- 午前 7:30 聖餐式
- 午前 9:00 ステパノ会  
(日曜学校)礼拝
- 午前 10:30 聖餐式
- 午後 4:00 夕の礼拝

#### ■ 平日礼拝

月曜日から土曜日までは、毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式